

備前市一般廃棄物処理基本計画(案)に対する意見募集の公表について

備前市一般廃棄物処理基本計画(案)に対して、市民の皆様からご意見を募集した結果について、ご意見の要旨と市の考え方は下記のとおりです。

ご意見をお寄せいただきましてありがとうございます。

意見募集期間 令和2年3月10日(火)～3月23日(月)

意見募集結果 13件(3名)

	意見等の要旨	市の考え方
1	<p>P.1 巻頭 次の文言を加える。</p> <p>現状のままCO2等温室効果ガスの排出、廃棄物の河川・海洋への流出が続くと地球環境の悪化が進行、その結果気温の上昇、海水面の上昇、風水害の多発と激甚化、山林火災の頻発、食料生産の減少等が起る。また一方では有限資源の枯渇も起り、人類存亡の危機が増す。</p> <p>これを回避するため、まずは環境型社会の形成に向けて、市民が一致団結取り組まねばならない。</p> <p>(理由)</p> <p>廃棄物処理問題は、個々人の意識に負うところが大きく、まず市民が「危機意識を持って行動する」ことが肝要。</p> <p>前記文言は例文で、「このまま環境対策をしないと地球に人間が住めなくなるよ。我々には大きな課題が与えられている」という様な強力なメッセージを発する必要性を強く感じる。</p>	<p>廃棄物に係る問題は個々の意識に依るところが大きいところですが、本市では、この計画を基に、限られた資源を大切にし、資源を繰り返し利用することで環境と経済を共生させ、持続可能な形で発展する「循環型社会」の形成を推進してまいります。</p>
2	<p>P.4 上から2つ目のマス</p> <p>効果が薄れている。ではなく十分成果が上がっていないでは。</p> <p>(理由)</p> <p>行政サイドの施策に問題が有るとは必ずしも言えない。むしろ排出者の意識が低下しているのでは</p>	<p>成果は上がっておりますが、9種23分別を導入して8年が経過する中で、徐々に分別の意識が薄れていると思慮しております。</p>
3	<p>P.4 上から4つ目のマス</p> <p>協力、協力度ではなく意識では</p> <p>(理由)</p> <p>自ら発生させた「ごみ」は自らで始末するのが本来の姿。いかんせんそれがかなわないから行政が発生者に成り変わって、処理を代行している。</p> <p>「協力」の文言は市民に誤解を与える。</p>	<p>ご意見の主旨を鑑み検討をさせていただきます。</p>

	「大変なことを行政にやっていただいているんだ」でなく「ああ協力しているのか」と勘ちがいする。	
4	<p>P.4 下から1つ目のマス</p> <p>ごみ処理経費をできるだけ低減させ、無駄に増加しないよう努める。</p> <p>今後はごみ処理経費の低減をはかる必要がある。に改める。</p> <p>(理由)</p> <p>強力なメッセージを発しないと効果が得られないのでは</p> <p>「できるだけ低減」なら「できなければいいのか。無理に努力しなくてもいいな」となるのでは</p>	<p>施設保全計画に基づいているため、このような記述になっております。ただし、ハイブリッドパッカー車の導入や焼却燃料をBDFに切り替える等の対策をし、処理経費の低減を図っています。今後も処理経費を削減できるように努めてまいります。</p>
5	<p>P.8 事業系ごみ対策について</p> <p>平成25年度から事業系ごみ対策について進展が見られず、それが原因のひとつと考えられ、家庭ごみと同じに考えるのはどうかと思う。事業系ごみの位置づけを明確にしていきたい。</p>	<p>ご意見の主旨を鑑み検討をさせていただきます。</p>
6	<p>P.9 分別の推進について</p> <p>分別できる指導員の育成はどのように図っているのか具体案を示していきたい。また、公民館だけではなく学校などの場を通して環境出前学習の推進を希望します。</p>	
7	<p>P.10 3Rの行動の実績について</p> <p>昨今社会問題になっている食品ロス削減に向けた具体的取り組みを施策として提示していきたい。(2019年10月施行された食品ロス削減推進法により)</p>	
8	<p>全体的に具体性が乏しい感じを受けました。</p> <p>分別の推進、ごみの削減や事業系ごみ対策など、必要なことだと思いますので、より具体的な方法・方針を出して行ってほしいです。</p> <p>現状の資料では、どのように目標が達成できるのか、道筋が見えにくいです。</p> <p>(概要版だからでしょうか？だとしたら、本編も開示すべきかと思います)</p>	
9	<p>〈本計画書の広報〉</p> <p>市内中学の学生さんに出前授業で配布しては</p>	
10	<p>また、リサイクル率の目標値が低い気がします。岡山県の平均値を下げない程度の目標設定はすべきではないでしょうか。</p>	<p>岡山県や国が掲げている目標値と比べると、家庭系ごみの1人1日当たり排出量や再生利用率(リサイクル率)は目標に対して低い水準にありますが、1</p>

		<p>人 1 日当たりごみ排出量については目標値を大きく下回り既に達成できています。</p> <p>平成30年度のごみ排出原単位及びリサイクル率の実績値は、既定計画の基準年度である平成23年度と比べおおむね同程度です。ごみの排出状況は、9種23分別で新たに資源ごみに区分された品目の分別が進んできたこと以外は平成23年度とあまり大きく変わっていないと想定し、目標設定については、国の目標に一定の配慮をしつつ実行可能な範囲で設定しております。</p>
11	<p>市民がより分別に協力しやすい収集体系もご検討いただきたいです。</p> <p>現状の分別カレンダーでは特に廃プラスチック類がマジメに分別をするとかなり多く月2回の収集では追いつきません。</p> <p>廃プラスチックや雑紙など資源化物の回収頻度を増加することで、分別がしやすくなり可燃ごみが削減できるのではないのでしょうか？</p> <p>環境保全のためにも、ぜひ先進的なごみ削減・リサイクル推進の取り組みをしてほしいです。</p>	<p>廃プラなどの資源物は資源回収ステーションに排出していただいておりますが、当該施設への排出日が地域での開放日の取り決めによって各自宅の保管になっているケースもあります。当該施設の開放日を増やすなどの対策を講じていただければ解消できるかもしれません。市としても費用対効果を鑑み、対策について研究を続けてまいります。</p>
12	<p>〈市民の意識向上〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 行政と市民の意見交換会の開催 町内会位の小さい単位で 環境衛生指導委員に音頭を取っていただく 長期戦になるが、息の長い対応で積み上げてゆく ごみ処理施設の見学会 市のバスを動員。市民の方に「こんなにお金がかかっているの、みな税金なんです」を見ていただく。 排出された可燃ごみ袋を不定期・無作為に抽出チェック 「回収可能なものが、こんなに燃やされて、温室効果ガスを出して、資源を無駄にしているんです。」と広報びぜんでPRしては ごみ問題を広報びぜんに掲載する 硬い内容ばかりでなく、幅広い意見や体験談、他自治体のニュースなども 過去教育について連載されたことがあります 	<p>ご意見を参考に、様々な施策を研究・検討しながら計画を推進していきます。</p>
13	<p>〈現状についての雑感〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 廃プラの回収が減ってないか 	

	<p>当地区は環境衛生指導委員のご尽力により順調に9種23分別をスタートできた。排出時当番を決めて、容器等の段取り片付け等を実施している。</p> <p>当番の方々から「廃プラが始めた頃からすると少ないなあ」の声が出ています。</p> <p>2. 可燃ごみ袋に回収可能な資源が入っている 新聞、広告、雑紙、プラスチック等が混入している。</p> <p>P4上から4つ目のマスの上から2と目の◆一定割合いるに該当するのか</p>	